



0404号

医療法人社団 寿量会

発行 熊本機能病院

指定運動療法施設熊本健康・体力づくりセンター
介護老人保健施設清雅苑
熊本市在宅介護支援センター清雅苑
訪問看護ステーション清雅苑

〒860-8518 熊本市山室6丁目8-1
TEL 096-345-8111 FAX 096-345-8188

熊本機能病院の理念
市民の人間尊重と健康生活への奉仕をする

http://www.juryo.or.jp
E-mail: otayori@juryo.or.jp

熊本機能病院 外来診察医一覧

平成16年5月1日現在

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	中島 英親 高橋修一朗 田口 学 長井 卓志	米満 弘之 中根 惟武 寺本憲市郎 武田 浩志 <small>(肩・肘・スポーツ障害)</small>	高橋修一朗 武田 浩志 久保田晃志 星野 秀士 高木 克公	中島 英親 寺本憲市郎 原田 香苗 清田 克彦	米満 弘之 中根 惟武 田口 学 長井 卓志	米満 弘之 担当医 田中 達朗 中村 孝文 <small>(骨椎外科外来)</small>
	午後	中島 英親 原田 香苗 田中 達郎 清田 克彦 高木 克公	中根 惟武 寺本憲市郎 石井 孝子	高橋修一朗 <small>(スポーツ特再)</small> 久保田晃志 原田 香苗 高木 克公	高橋修一朗 <small>(スポーツ特再)</small> 寺本憲市郎 石井 孝子	星野 秀士 久保田晃志	
形成外科	午前	小園喜久夫		加藤 幸也		小園喜久夫	
	午後					小園喜久夫	
リウマチ科	午後	木村 千仞	木村 千仞	木村 千仞			
内科	午前	出田 透 <small>(神経内科・リハ科)</small> 山永 裕明 <small>(リハ科・神経内科)</small> 中西 亮二 <small>(リハ科・神経内科)</small> 木原 薫 <small>(リハ科・内科)</small>	中西美智子 <small>(内科)</small> 渡邊 進 <small>(神経内科・内科)</small> 三石 敬之 <small>(リハ科・神経内科)</small> 竹迫 雅弘 <small>(糖尿病・内科)</small>	出田 透 <small>(神経内科・リハ科)</small> 中西 亮二 <small>(リハ科・神経内科)</small> 江口議八郎 <small>(脳外科)</small> 坂本 理 <small>(内科)</small> 松永 薫 <small>(神経内科・リハ科)</small>	山永 裕明 <small>(リハ科・神経内科)</small> 中西美智子 <small>(内科)</small> 江口議八郎 <small>(脳外科)</small> 渡邊 進 <small>(神経内科・内科)</small> 桂 賢一 <small>(神経内科・内科)</small>	出田 透 <small>(神経内科・リハ科)</small> 木原 薫 <small>(リハ科・内科)</small> 三石 敬之 <small>(リハ科・神経内科)</small> 徳永 誠 <small>(神経内科・リハ科)</small> 時里 香 <small>(神経内科・内科)</small>	江口議八郎 <small>(脳外科)</small> 工藤 博徳 <small>(内科)</small> 第1週 時里 香 第2週 桂 賢一 第3週 徳永 誠 第4週 松永 薫 第5週 (時里・桂)
	午後	内科担当医	竹迫 雅弘 <small>(糖尿病・内科)</small> 内科担当医	内科担当医	内科担当医	内科担当医	内科担当医
循環器科	午前	水野 雄二	泰江 弘文 <small>(高血圧外来)</small> 伊藤 彰彦	原田 栄作	水野 雄二	原田 栄作	泰江 弘文 <small>(高血圧外来)</small> 隔週 水野 雄二 原田 栄作 伊藤 彰彦
	午後	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子 <small>(午前中のみ)</small>
歯科	午前 午後	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子	安田 和満 辻 理子 <small>(午前中のみ)</small>

〈高血圧外来のご案内〉

熊本加齢医学研究所の泰江弘文所長（前熊本大学医学部循環器内科教授）による高血圧外来の診察を毎週火曜・土曜の午前中に行っています。詳細は外来受付までお尋ね下さい。

※鬼塚卓弥名誉教授、国際腎裂口蓋裂センター長の診療及び手術は、毎月2～3回金曜日に行われています。詳細は、外来受付までお尋ね下さい。
※神経難病センター所長の出田透前熊本大学教授の神経内科診察は月曜・水曜・金曜日となっております。予約制をとっておりますので外来受付の方へお申し込み下さい。
※毎月2週間昭和大学歯学部医師が常駐し、歯列矯正などの、矯正歯科の治療を行っています。詳細は、歯科受付までお尋ね下さい。

- 骨密度測定 (DEXA-QDR2000)、MRI (PhilipsT-5、日立MRP-7000)、CT (日立CT-W2000 3次元CTも可能)、神経生理検査 (SSEP、SEP、脳波、神経伝導速度など)、筋力測定 (Cybex 6000) などご利用できます。
- 救急センターは、四肢外傷センターとしての機能に加え、平成10年5月からは循環器センターとして、心臓疾患の急変時にも対応できるよう、24時間体制で受け付けています。

外来告知版

- 介護老人保健施設清雅苑への入所は当法人の地域ケア支援センターで受け付けていますが、入所の適応について不明な場合、病院外来においてご相談を受けることも可能です。
- ご紹介いただきました患者さんにつきましては、原則としてFAXかお手紙にてご返事いたしますが、その後の経過につき、より詳しくお知りになりたい際は、病診ネットワーク担当がお取り次ぎをして後日報告いたします。お気兼ねなくお電話ください。
- その他、従来以上に午後の外来担当医を充実し土曜日を除き、午後の外来も受け付けています。

当院における電子カルテ導入について

医療法人寿量会医療情報センターセンター長 中西 亮二

当法人では、医療のIT化にむけて順次関連システムの導入・更新を進めてきました。当初の計画では、厚生労働省の「保健医療分野の情報化に向けてのグランドデザイン」を受けて、平成16年度の電子カルテ稼動を目標に、平成15年度中に先ずオーダーリングシステムを導入する予定でした。ところが、平成14年度の国の補助事業（「医療施設等設備整備事業費補助金」）として当法人の電子カルテ導入計画が認められるとの内示を受け、計画を前倒してオーダーリングに加えて、平成15年度中に電子カルテシステムまで導入することになりました。

既存の医事システム、看護システムに加えて、今回、オーダーリングシステム、SOAPツール、画像参照システムの新規導入、医師文書管理システム、栄養部システムの更新を計画しました。関係諸部門の協力により、2月23日にはオーダーリングの運用を開始し、3月末現在、電子カルテシステムの試験運用が始まりました。今回の導入によって電子カルテの骨格はほぼ整いましたが、個別の診療科に対応したカルテや手術関連システム、リハ関連システム、処置、服薬指導、検査レポートなどのシステム導入、MRIやCTの更新と電子カルテとの接続など今後の継続事業も多く残されています。

また、電子カルテが導入されたことで、医師や看護師の入力業務の増大や個人情報の保護・管理対策が重要な問題となっています。しかし、電子カルテは今後の医療のあり方を決定する重要な手段のひとつであることは間違いありません。当院のシステムは、やっと電子カルテの入り口に到達したばかりです。今後、発展し続けるシステムとして育てていけるかどうか最も重要な課題であると考えています。

神経生理検査センター シリーズ -16-

一下肢体性感覚誘発電位検査(下肢SEP)一

臨床神経生理検査センター 寺本 靖之、中西 亮二

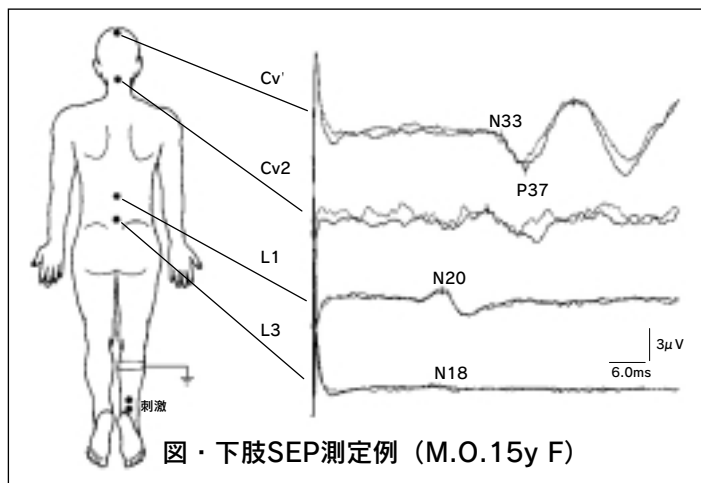
体性感覚誘発電位（SEP）とは、体性感覚を刺激したときに、感覚伝導路や大脳皮質感覚野で生ずる反応を、加算平均法によって求めるものであり、末梢神経（神経根）～脊髄～大脳皮質に至る感覚伝導路の評価と障害部位の同定ができる検査です。

近年、上肢神経刺激による体性感覚誘発電位検査は広く普及し、神経伝導検査と同様に一般化されつつありますが、多発性硬化症のようにしばしば胸、腰髄に病変を有する疾患の場合、上肢刺激のSEPだけでは情報が十分でなく下肢刺激によるSEPが重要となります。

本検査は、下部頸髄以下の障害が想定される場合、とくに脊髄の脱髄性疾患、炎症性疾患、代謝性疾患や脳血管障害など感覚障害を呈する症例に対して病変部位および重症度を評価するための補助診断として有用であり、脊髄の整形外科的疾患では放射線学的検査とあわせて実施する事により病巣部位の診断に有効な検査法となります。

当センターでは経皮的に後脛骨神経を足関節部で電気刺激し、第1腰椎からのN20、頸椎棘突起上からのN28、皮質感覚野からのN33、P37波形の潜時や振幅の変化により病巣部位の診断を行っています。

検査時間は約30分程度ですので、脊髄病変が疑われる場合には当センター担当医（渡邊、松永、三石、桂）まで御依頼ください。



障害者ケアマネジメントについて

～4月から熊本市でも『障害者ケアマネジメント事業』がスタート!～

熊本市在宅介護支援センター清雅苑 ソーシャルワーカー 堤 信泰

昨年11月から『障害者ケアマネジメント事業』が始まりました。熊本市に在住で何らかの障害（身体・知的・精神）により日常生活を送る上で支障を来している方を対象に相談対応する窓口の開設です。『ケアマネジメント』『ケアマネージャー』という言葉については、私が熊本市在宅介護支援センター清雅苑（以下当支援センターと略す）として地域へ訪問して相談対応している中で、それらの横文字を見たことも聞いたことも無いと言われる方は少なくなってきました。介護保険制度が4年目に入ったこともあり、周知されてきたように思います。

さて、『障害者ケアマネジメント事業』とは障害のある方が、地域生活を送る為に必要な情報の提供や利用する社会資源の選択や決定について支援していく事業です。熊本市障害保健福祉課、5つの各保健福祉センターに相談窓口があります。社会福祉士や精神保健福祉士の国家資格を持つ職員が嘱託員として配属されています。

最近では65歳未満の方から介護保険利用についての相談が増えています。しかし、介護保険を利用する為には15種類の特定疾病での診断名が必要であり、それ以外の疾患では認定申請をすることができません。当支援センターでも、介護保険に該当しない方からの生活に関する相談があります。そのため、今後は障害者ケアマネジメントの担当者と連携することが多くなると思っています。

平成14年12月に障害者基本計画が策定され、その中において「利用者本位の考え方に立って、個人の多様なニーズに対応する生活支援体制の整備、サービスの量的・質的充実に努め、全ての障害者に対して豊かな地域生活の実現に向けた体制を確立する。」とあります。このようなことから、当支援センターは、地域に在住の障害者が社会資源を自己選択・決定の下に利用することができるよう支援し、社会資源づくりにも取り組んでいく必要があると考えます。

24時間救急センター

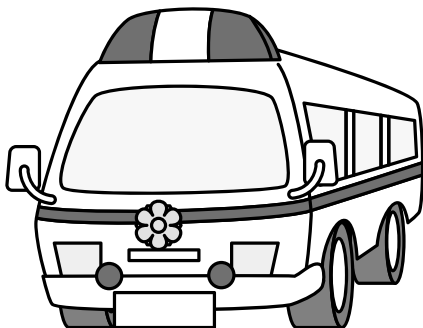
センター長 中島 英親

切断四肢外傷センター、農業外傷センター、循環器外傷センターを標榜し、24時間体制で、熊本県北部地域の救急医療に対処しています。切断指、切断肢で再接着の患者さんは、九州各地から来院されます。1982年5月～1999年12月までに425症例、490指に再接着術を施行し、生着率は87.8%でした。また、上腕切断11例、前腕切断15例、下腿切断14例でした。農業外傷は平成2年（1990年）は、68症例で、切断が22例でした。平成13年（2001年）は、23症例で、切断は7例と少なくなっています。ただ、コンバイン、草薙り機の事故が多く、重症になっています。四肢外傷センターとしては、指の外傷が非常に目立ちます。

平成13年（2001年）の救急患者数は、5966人、救急車搬送は673人、平成14年は、6784人、救急車搬送746人、平成15年の救急患者数は、6,841人、救急車搬送845人で毎年確実に増加しています。今後も地域医療の向上と、多くの患者様の安心と安全を提供する医療に心がけてまいります。特に、救急の医療の大きな部分を占める手の外科の分野では、再接着が出来る7名の手の外科医師で対応しています。

平成10年5月に、循環器センターを開設いたしました。狭心症、心筋梗塞などの救急に対応し、心臓カテーテルも年間310症例に施行していて、症例も年々を追って増加傾向にあります。

このように、特殊センターでは、24時間体制で、高度な医療が提供できるように心がけています。



肥満と高血圧の代表的疾患

熊本機能病院 循環器科(熊本加齢医学研究所) 筆頭部長 水野 雄二

症例は、42歳の女性で、今から2年前より太りだし、時を同じくして顕著な高血圧を合併されてきたために、高血圧の専門的取り組みを行っている当科にご紹介いただいた。

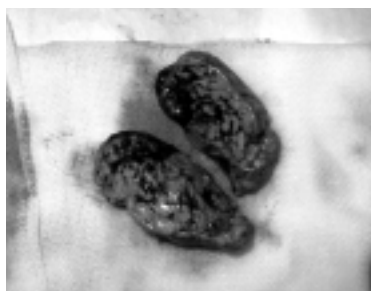
身長157cm、体重73.5Kg (BMI29.7) の肥満体型であった。来院時すでに降圧剤内服されていたが、それでも血圧200/110程度の重症高血圧であった。腹部に赤色皮膚線状があり、国家試験の文章問題の対策で訓練された我々医師にとって、このような文章中に表現されているキーワードから読み取りクッシング症候群と診断することは比較的簡単と思われるが、内分泌を専門にしている先生を除けば、学生時代に思っていたよりもお目にかかることの少ない疾患であるだけに、実際の臨床の場で、クッシング症候群を疑い、さらに適切な診断を行い、治療を遂行することは、容易ではなく、生活習慣病としては捉えてもクッシング症候群であることは、気づかれない症例も実際には多いことかと思われる。

本症例は、デキサメサゾン負荷試験以外にも、コルチゾール分泌パターンについて検査を行い、CTでも腫瘍と思われる像も右副腎に確認し、さらに選択的副腎静脈採血で実際の分泌異常と部位の確認を行い、最終的には手術を行った。術後、数ヵ月後には、体重51kg (約-22.5kg) とスマートになられ、体の重い感じもなくなり、過剰な食欲も消失し、血圧にいたっては、**再来時血圧130/80 (内服無し)** と改善し我々も、ここまで改善するものかと感心した。我々が、日頃行っているPTCAよりさらに劇的に改善した今回の症例には、自ら感動した。本人も楽になったと喜ばれ、周りの人も驚かれておられる。知人の中には、ダイエットの仕方を教えてくれと相談を持ちかけてくる方もおられるようである。ご本人も現在、治療に対してすごく感謝していただいている。

治療前 (体重74kg)



右副腎腫瘍



治療後 (体重51kg)



熊本機能病院の基本方針

理念にのっとり、次なる基本方針を定め実行する

- 1) 地域における健康生活への奉仕をする
- 2) 24時間体制、救急医療からリハビリテーション、在宅医療までの一貫した医療を実践する
- 3) 地域における疾病の高度治療の充実をはかる
- 4) 地域における市民の生活自立への支援を行う
- 5) 地域における保健・医療・福祉の連携をはかる
- 6) 地域における「医療の谷間」の解消への努力をする
- 7) 地域における医療充実のための教育研修事業を行う
- 8) 健全経営の維持に努力し、その成果を医療活動を通じて社会に還元する
- 9) 職員が病院と共に成長できる働きがいのある職場風土を育むことに努める